

みつける・つながる・ひろがる！ 蒲郡の生涯学習市民ワークショップ

第2回レポート

令和8年9月12日（土）、蒲郡市民体育センターで蒲郡市の生涯学習を考える2回目の市民ワークショップを開催し、20代から80代まで幅広い年代の市民10人が参加しました。

今回のワークショップは「『みんな』にとっての生涯学習を考えよう」と題し、蒲郡で暮らす誰もが生涯学習に取り組めるようにするには何が必要かを考えるため、10代高校生、30代子育て中、40代会社員、70代無職、障がいがある人、外国籍市民という6人の仮想市民を設定しました。2つのグループに分かれて、それぞれの仮想市民が生涯学習に取り組む上でのハードルを考えた上で、それを乗り越えるためのアイデアを出し合いました。

「みんな」の生涯学習を考えよう

A グループでは、【30代子育て中】、【70代無職】、【障がいのある人】を中心に議論し、誰もが孤立せず、地域とつながるための工夫が多く挙げられました。

30代子育て中の困りごととして、生涯学習にかけられる経済的・時間的な余裕がないことや情報収集面での課題などが挙げられました。これに対し、受講料不要の教室や子どもと参加できるイベントの開催、託児環境の拡充、子育て支援サービスの周知・活用が必要との意見が出されました。

70代無職の困りごととして、周囲との交流が減少し、孤独感を抱えていることなどが考えられるとし、金銭的負担を抑えつつ、同じ境遇の人と話せる場や社会参加の機会を求める意見が出されました。

障がいのある人は、経済的自立の難しさや移動時のバリア（障壁）、世間の目などが課題に挙げられ、バリアフリー化のほか、誰でも参加できるイベントや個性を生かした役割を持てる場づくりなどが提案されました。

	日々の生活で困っていること	学び、地域とつながるための工夫
30代 子育て中	○費用をかけられない ○子どもの生活に左右され自分の時間がない ○SNSだけでなく、人づてに情報を得たい ○子どもを預けて働ける環境が整っていない	○各種子育て支援サービスを活用・案内する ○1人で抱え込まずに本音を吐き出せる機会 や子どもと参加できる魅力的な場を作る ○デビュー・スタートしやすい仕組み作り
70代 無職	○同居する家族とうまくいかない ○人と会い、話す機会が減り、認知機能の低下が心配 ○受講料や交通費が気になり、行動に踏み出せない	○弁当配達などを通じた安否確認 ○家族が会いに行く機会を作る ○趣味の合う友だちづくり、同じ境遇の人と 話せる場、気軽に試せるメニューを提供 ○SNS勉強会を開く ○子どもの見守りなど、社会参加の場を作る
障がい のある人	○低賃金で働く環境にあり、自立が難しい ○車いすなどの器具も高額 ○もっと外に出て活動したいが、トイレや段差、差別や区別などのバリア（障壁）を気にして行動に移せない	○施設のバリアフリー化を進め、バリアフリーマップを作る ○障がい者向け開業支援の場を作る ○誰でも参加できるイベントを開催 ○幼少期から区別・差別しない意識を育てる

B グループでは、【10代高校生】、【40代会社員】、【外国籍市民】を中心に議論しました。

10代高校生は、SNS依存や同世代との交流減少、勉強や運動ができる地域の居場所不足に直面しており、学生版コワーキングスペースの設置や若者が利用しやすい公民館への工夫、町内会をオープンにし、若者が参画しやすくすることなどが挙げられました。

40代会社員は、仕事や家庭の忙しさから時間と情報が不足しており、夜間のカルチャーセンターの開設や家族と参加できるイベントの開催、駅への直接書き込める掲示板の設置などの提案がありました。



外国籍市民は、言語や文化の壁から地域住民との関わりが少なく孤立しがちであり、家族で参加できる国際交流イベントの開催や主体的に文化を発信できる料理教室などの場づくりなどが必要との意見が出されました。

	日々の生活で困っていること	学び、地域とつながるための工夫
10代高校生	○頼れる人や今できること、身につけられることがわからない ○SNSに使う時間が多く、人と会う機会やコミュニティが少ない ○遊び、スポーツ、勉強ができる場がない	○LINE・インスタを活用した情報発信 ○仕事の紹介の場を作る ○デジタルデトックスイベントを開く ○学生版コワーキングスペースを作る ○公共施設を若者が使いやすくする
40代会社員	○仕事や家事に追われ、自分の時間がない ○夜間に活動できる場所がなく、オンライン講座が少ない ○蒲郡の情報がわからない	○仕事しない日を決める ○夜間のカルチャーセンターなど、社会人も参加できる場所を作る ○家族で参加・交流できるイベントを作る ○駅に募集や困りごとを書ける掲示板を置く
外国籍市民	○言語や文化の違い、外国語対応が少ない ○ルームシェアなどの募集が少なく、寮しか選択肢がない ○日常生活の困りごとを人に聞く機会がない ○地域住民との交流の場が少なく、外国籍の方のコミュニティだけで完結しがち	○家族で参加できる国際交流イベントや集会の場を作る ○様々な国のリーダーを作る ○外国人による料理教室を開いて文化を発信 ○参加した外国籍市民を周囲が援助する姿勢

